



❖ 2022年6月16日にInternet Explorerサポート終了します ❖

2022年6月16日（日本時間）をもって、Microsoft社よりInternet Explorerのサポートが終了となることが告知されています。同ソフトウェア製品の利用者においては、サポートが継続している他の一般的なブラウザへの移行、およびコンテンツの改修等の対応が求められます。

■ 概要

2022年6月16日（日本時間）にMicrosoft社のInternet Explorer（以下、IE）のサポートが終了します。サポート終了後、Microsoft社が定める時点より、IEを起動しようとするMicrosoft Edgeが起動するよう変更されます。（※1）そのため、IEのみで作成されたコンテンツ（以下、IEコンテンツ）をIEで閲覧できなくなります。（※2）IEコンテンツの利用者や提供者は、他のブラウザへの移行やコンテンツの改修等、速やかな対策の実施が求められます。

※1 Windows Updateが適切に行われている必要があります。

※2 一定期間はMicrosoft Edgeでも閲覧可能ですが、期限を過ぎた後は閲覧できなくなる可能性があります。

サポート終了の対策ソフトウェア製品は以下の通りです。

・2022年6月16日（日本時間）

Internet Explorer11 デスクトップアプリケーション（SAC）、Windows10デスクトップSKU（20H2以降）、Windows10IOT（20H2以降）

■ 影響を受ける対象と求められる対策

● サポート終了の影響を受ける対象について

IEのサポート終了の影響を受ける対象者は以下の通りです。

IEコンテンツの利用者・・・一般ユーザ、組織の従業員

IEコンテンツの提供者・・・組織の情報システム担当部門、ウェブサービス事業者

※テレワークを導入している組織の場合は、従業員がVPN接続経由等で「IEコンテンツ」を利用している端末も対象となります。

● サポート終了までに求められる対策について

対象者の役割に応じて、サポート終了までに求められる対策を行ってください。

・IEコンテンツの利用者（一般ユーザ）

サポート終了後は、IEの代わりにMicrosoft Edgeが起動するようになるため、IEコンテンツを継続して利用する場合は、Microsoft Edgeの「IEモード」で閲覧するようになります。ただし、「IEモード」も2029年でサポートが終了することがMicrosoft社より発表されており、終了後はIEコンテンツを閲覧できなくなる可能性が高いため注意が必要です。

・IEコンテンツ利用者（組織の従業員）

サポート終了後は、IEコンテンツを利用している自組織内のポータルサイトや業務で閲覧している外部ウェブサイトなどがIEで閲覧できなくなります。求められる対策は概ね一般ユーザと同じですが、組織の環境や方針などにより「IEモード」を利用できないように設定されている可能性があります。

・IEコンテンツの提供者（組織の情報システム担当部門、ウェブサービス事業者）

IEコンテンツを自組織内のポータルサイトで従業員向けに提供している場合、または顧客向けのウェブサイトを提供している場合、いずれにおいてもサポート終了に向けてどのように対応するか検討が必要になります。サポート終了と同時にIEコンテンツの提供を終了するという選択肢もありますが、終了後も継続して提供する場合は、IEコンテンツをウェブ標準仕様に準拠して改修し、IE以外の一般的なブラウザでも閲覧できるようにすることが求められます。

サポート終了までに改修が間に合わない場合は、従業員や顧客に向けて、従来のIEコンテンツを「IEモード」で閲覧するよう周知する必要があります。

- 「IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）ホームページ」より-

* 今月の豆知識 *

～ 暑くなる前にエアコンの試運転を ～

今年は梅雨入りが早く暑い日が長くなると言われています。

暑くなる前に、エアコンの試運転をし不具合がないか確認をしましょう。

例年、本格的シーズンに入ってから不具合を見つけて点検や修理の申し込みが集中し、メーカーがすぐ対応出来ない場合があるそうです。

メーカー毎に推奨する試運転の方法が異なるので、各社のWEBサイトで確認してみてください。

< エアコンの試運転ポイント >

- フィルターは掃除してあるか
- 室外機の周辺に物を置いていないか
- 電源プラグ周囲はきれいか
- 最低温度に設定して、10分運転。冷風がきちんと出ているか、異常を示すランプがついていないか確認
- さらに30分程度運転。室内機から水漏れがないか、異音や異臭がないか確認





赤松事務機株式会社
代表取締役 片松 保佳

『社長のつぶやき』

5月になりました。4月からグッと暖かくなると思いきや、朝晩はそこまで暖かくない日々が続いております。服装選びや温度調節が難しい日々が続いておりますので体調を崩されませんようにお気を付け下さい。さて、今月も先月に引き続き情報セキュリティ関連の出張がありましたのでご報告いたします。

●ウィズセキュア株式会社様（旧社名エフセキュア株式会社）訪問 @東京

ウィズセキュア株式会社様はフィンランドに本社を置く情報セキュリティの専門会社です。弊社はウィズセキュア株式会社様と数年前からパートナーシップ契約を締結し、弊社のお客様に対してウィズセキュア製情報セキュリティソリューション（エンドポイント対策等）を提供しております。この度、ウィズセキュアへの社名変更にあたり東京の事務所へ訪問させていただきました。その日はたまたまフィンランドのマリン首相が来日し日本に滞在する日程と重なっており、とてもお忙しい中にも関わらずアジアパシフィック担当のバイスプレジデントとご挨拶させていただきました。その後法人営業本部の部長様と2時間にわたり今後のビジョン・協業体制について有意義なお話をお伺いすることができました。エフセキュアからウィズセキュアへ社名変更したのですが、実はエフセキュアという社名はコンシューマー部門担当の会社ということで社名は残っているそうです。法人担当部門を強化するために分社化しウィズセキュアという社名を付けてブランドイメージを確立したということです。実際にお取引会社様のオフィスに行き責任者やご担当者にご直接お会いしてお話を伺うと、今まで以上にお互いの距離が縮まり関係性が良くなっていくことを肌で感じました。やっぱりリアルで会うと全然違います！

実は上記出張の帰り、羽田発高松空港行の便で人生初めての「濃霧のため着陸できず羽田空港まで引き返す」という出来事がありました。搭乗したのは朝7：45羽田発でしたが羽田空港まで戻り11：45羽田発の便で高松空港に着いたのが13：00でした。この出来事を踏まえ、今後はこういったリスクも頭に入れて出張帰りにすぐに予定を入れないほうが良いという学びにもなりました。日々起こる出来事は本当に何事も勉強だなと感じた出張となりました。

IT用語

知っておいて損はしない！かも・・・

■ インターフェース ■

英語の「Interface」は「境界面」「接点」などの意味があり、IT用語の「インターフェース」は、2者間の情報のやり取りを仲介する規格や機能のことを指します。人と人の間に使用することはなく、システム間や人間と機械の間によく使う言葉です。

例えば、コンピュータとプリンタを繋ぐ端子や、USBケーブルなどもインターフェースです。

インターフェースは、「ハードウェアインターフェース」「ソフトウェアインターフェース」「ユーザーインターフェース」の3つに大別できます。

【ハードウェアインターフェース】・・・ハードウェア間

【ソフトウェアインターフェース】・・・ソフトウェア間

【ユーザーインターフェース】・・・ハードウェアとユーザー間

弊社では、情報セキュリティ対策商品、UTM(統合脅威管理)等の取扱いをしております！
HPでも紹介しておりますのでぜひご覧頂ければと思います!!!
対策は早目にしましょう！

